

CLIMAX RESCUE NATIONAL RESCUE MEET

2007 IN TOKYO

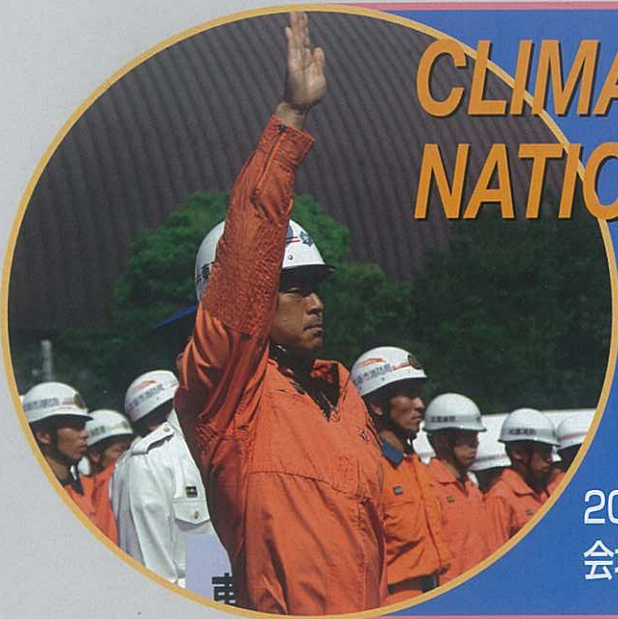
第36回 全国消防救助技術大会



主催／財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会

CLIMAX RESCUE NATIONAL RESCUE MEET

2007 IN TOKYO



2007年8月22日

会場／東京消防庁夢の島消防訓練場・東京辰巳国際水泳場

「CLIMAX RESCUE」をスローガンに、第三六回全国消防救助技術大会が去る八月二二日、東京都の東京消防庁夢の島消防訓練場及び東京辰巳国際水泳場において、多くの来賓を迎えて盛大に挙行した。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識・技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽するために、昭和四七年から毎年開催しているものであり、昨年デモンストレーションとして披露された技術訓練が「技術訓練実施計画」により実施される記念すべき大会となった。

平成一三年の第三〇回大会が開催されて以来、六年振り四回目の大会開催となる東京都は、日本の政治・経済・文化の中心として、また、1,200万人が暮らす世界に冠たる国際都市でもあり、東京消防庁では都民の安全を守り安心を支えるため、全職員が一丸となつて消防行政を強力に推進している。

この大会は東京消防庁の主管のもと、陸上会場・水上会場を合わせ総勢約600人余りの職員を導入し、陸上会場内では、消防・防災に関する「体験コーナー」や車両展示も行なわれていた。

さて、大会当日は空一面晴れ渡り、今年の記録的な猛暑を象徴するような真夏日の中、一般の方や消防関係者など約一〇、〇〇〇名が早朝より全国各地から駆けつけ、開会前から熱気と興奮に包まれ、隊員たちが繰り広げる熱き大会が始まるのを今か今かと待ち構えていた。

午前九時、東京消防庁音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九三〇名の精鋭たちが堂々と入場し、副会長である森口大阪府消防局長の開会宣言（水上会場においては、折坂京都市消防局長が開会宣言を実施した）で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げた。続いて国旗、大会旗を掲揚した後、大会会長である小林（財）全国消防協会会長、谷川東京都副知事のおいさつ、荒木消防庁長官、片山日本消防協会会長（代理・秋本理事長）の祝辞と続き、さらに、大会審判長の吉原北九州市消防局長による審判長指示がなされ、出場隊員を代表して東京消防庁武蔵野消防署の田上消防士長が

力強く隊員宣誓を行った。開会式の後、訓練が開始されるまでの間、「東京都立国際高校チアリーディング」による特別演技が華麗に披露された。

いよいよ訓練の幕開けである。全国から選りすぐられた精鋭たちは陸上・水上それぞれの会場において、救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露していく。その懸命な姿に観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まず、大会スローガンどおり出場隊員と観客が一体となり、その興奮が「CLIMAX（最高潮）」に達し、見る者すべてに大きな感動を与えた。

また、水上会場では厳しい訓練の合間に、色鮮やかなコスチュームに身を包んだ「東京シンクロナブ」による華やかな特別演技が披露され、訓練の緊張さめやらぬ隊員の衣服の清涼剤となり、隊員の顔もいつしか和らいでいた。

陸上の部最後の種目が終了し、創意と工夫のもとでより安全で的確、迅速な訓練を発表する技術訓練が、東北地区支部（仙台市消防局・陸上）、開催地（東京消防庁・陸上）、東近畿地区支部（和歌山市消防局・水上）、近畿地区支部（尼崎市消防局、西宮市消防局、芦屋市消防本部、伊丹市消防局、篠山市消防本部・陸上）、九州地区支部（熊本市消防局・水上）の5組が実施し、出場隊員や観客席から熱い視線がそがれていた。

閉会式が始まるまでの間、東京消防庁音楽隊・カラーガード隊による特別演技が披露され、閉会式では、大会会長である小林会長から「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げます。本大会は、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君は日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮されたことは大変意義深いことと思つ。本大会を一つの契機とし、今後もより一層救助技術の錬磨、向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が小林東京消防庁消防総監から次期開催地の吉原北九州市消防局長に引き継がれ、吉原北九州市消防局長の次期開催地挨拶の後、副会長である橋川横浜市安全管理局長が開会を宣言し、第三六回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

猛暑の中、東京消防庁の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に對し、衷心より感謝申し上げます。

挨拶



財団法人 全国消防協会

会長 小林輝幸

第36回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、公務ご多忙のところ、荒木消防庁長官、谷川東京都副知事をはじめ、ご来賓多数のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、この大会は、全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、救助技術の練磨・研さんを図り、日頃鍛え抜いた消防救助技術を相互に確認するとともに、各種災害時において安全かつ確実な救助活動を行なうことを目的として、昭和47年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、各消防本部並びに関係機関の各種資器材の改良・開発や活用技術の研究はもとより、何よりも隊員皆さんのたゆまぬ努力と日々の訓練の積み重ねにより、着実に発展を遂げ、地震や台風などによる大規模災害等に対する活動は国内外から高い評価を得ており、先般の能登半島地震や新潟県中越沖地震においても大いに活躍し、実績を上げております。

しかしながら、近年、地域住民の安全を脅かす災害は後を絶たず、安全に対する住民の関心は、一層の高まりを見せ、消防に寄せる期待は、ますます大きくなっております。

この期待に応え、地域住民の人命救助体制を強化するため、緊急消防援助隊の増強や、特別高度救助隊等の整備が進められております。

我々消防機関といたしましては、今後も総力を挙げて各種災害の予防と被害の軽減に努め、貴人命や貴重な財産を護るため、全力で取り組んでまいります。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に充分に留意して、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目的を達成するとともに、今後も、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望するものであります。

結びに、本日ご列席の皆様のご健勝を祈念申し上げます。挨拶といたします。



祝辞
(財)日本消防協会会長(代理)
秋本敏文



祝辞
消防庁長官
荒木慶司



あいさつ
東京都副知事
谷川健次



閉会宣言
横浜市安全管理局長
橋川和夫



開会宣言
大阪市消防局長
森口清太郎



審判長指示・次期開催地あいさつ
北九州市消防局長
吉原伸二

陸上の部

ロープブリッジ渡過(基礎)



水平に展張された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。

ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間二二八秒】

表彰者

- 【北海道】**
登別市消防本部 金谷 和信
上川南部消防事務組合消防本部 太田 悠介
檜山広域行政組合消防本部 吉田 彰
札幌市消防局 鶴飼 幸紀
- 【東北】**
盛岡地区広域行政事務組合消防本部 久保 勝義
十日町地域消防本部 佐藤 利昭
南陽市消防本部 佐藤 尚良
秋田市消防本部 吹谷 謙和
石巻地区広域行政事務組合消防本部 武山 勝紀

伊達地方消防組合消防本部

五所川原地区消防事務組合消防本部 渡辺 将史
阿部 浩美

【関東】

東京消防庁 横溝 純
田方消防本部 大川 直人
伊那消防組合消防本部 小口 大輔
高萩市・日立市事務組合消防本部 齊藤 勲
芳賀地区広域行政事務組合消防本部 床井 威憲
富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 宮下 陽平
逗子市消防本部 池ヶ谷健市
児玉郡市広域消防本部 荻野 雅樹
館林地区消防組合消防本部 奈良 正浩

【東海】

孤野町消防本部 小川 峻
可茂消防事務組合消防本部 丸山 貴弘
西尾市消防本部 宮地 雄三

【東近畿】

生駒市消防本部 辻本 英彦
舞鶴市消防本部 白井 久淳
有田川町消防本部 玉置 修作
津幡町消防本部 大沢大二郎
湖北地域消防本部 畑野 佳史
富山市消防局 清水 教夫

【近畿】

養父市消防本部 柳生 陽一
東大阪市消防局 辻 烈
山陽小野田市消防本部 市山 陽介
鳥取県東部広域行政管理組合消防局 山崎 幸一
廿日市市消防本部 迫 邦彦
大田市消防本部 辻 孝昌
美作市消防本部 岡本 孝弘

【四国】

美馬市消防本部 松本 大輔
久万高原町消防本部 白石 敦嗣
高吾北広域町村事務組合消防本部 野々下直弥
高松市消防局 須佐美康人

【九州】

那覇市消防本部 前泊 利和
佐世保市消防局 松原 勇気

福岡県南広域消防組合消防本部

日向市消防本部 森永聡一郎
唐津市消防本部 菊澤 聡仁
佐伯市消防本部 本田 彰一
いちき串木野市消防本部 神田 嵩正
天草広域連合消防本部 羽根田 誠
本山 文博

はしご登はん(基礎)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間二四秒】

表彰者

- 【北海道】**
札幌市消防局 泉 友也
南渡島消防事務組合消防本部 浅井 茂行
西胆振消防組合消防本部 武川 智明
大雪消防組合消防本部 梶原 純一
北見地区消防組合消防本部 竹内 豊
- 【東北】**
仙台市消防局 佐々木辰也
西置賜行政組合消防本部 古口 正和
長岡市消防本部 野口 政幸
花巻市消防本部 小田島啓吾
いわき市消防本部 佐藤 東
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 中嶋 美彰
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 澤浪 真弓

【関東】

東京消防庁 服部 豪
伊勢崎市消防本部 矢内 政之
日光市消防本部 加藤慎二朗
笠間市消防本部 鈴木 裕也
伊奈町消防本部 久松 健人
印西地区消防組合消防本部 宮嶋真太郎

【東海】

藤沢市消防本部 大森 隼人
東京消防庁 鮫島 靖史
長野市消防局 前田 祥吾
浜松市消防本部 高地 祥吾
海部東部消防組合消防本部 中嶋 大祐

【東近畿】

四日市市消防本部 二口 耕治
南川 直紀
海南市消防本部 山崎 敦司
小松市消防本部 前田 崇
嶺北消防組合消防本部 川瀬 真貴
高島市消防本部 窪田 真司
香芝・広陵消防組合消防本部 明司 智規
京都中部広域消防組合消防本部 東 晃平
高岡市消防本部 平田 哲史

【近畿】

泉佐野市消防本部 吉原 健
神戸市消防局 今中 憲弘
益田広域消防本部 堀 宏次
下関市消防局 山村 卓
総社市消防本部 小林 伸也
広島市消防局 三島 文明
鳥取県東部広域行政管理組合消防局 竹内 賢司

【四国】

仲多度南部消防組合消防本部 竹内 賢司
仁淀消防組合消防本部 宮崎 恵介
八幡浜地区施設事務組合消防本部 國廣 善生
板野西部消防組合消防本部 多田 寛生

【九州】

甘木・朝倉消防本部 水口 陽介
佐賀広域消防局 森本 充
堤 孝史

佐保市消防局 成瀬 健勝
 八代広域行政事務組合消防本部 里見 隼
 都城市消防局 赤沼 克将
 大隅曾於地区消防組合消防本部 安楽 真人
 沖繩市消防本部 藤田久仁雄

ロープ応用登はん(連携)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一五メートル登はんする。
 【標準所要時間一六秒】

表彰者

【北海道】
 南渡島消防事務組合消防本部 佐々木 実
 北十勝消防事務組合消防本部 畠山 悟
 石狩北部地区消防事務組合消防本部 小沢 勇人
 室蘭市消防本部 本折 修大
 福島 孝洋
 田島 正紀
 立野 恭兵
 佐野 晃補
 上川南部消防事務組合消防本部 中谷 翔太
 佐々木 俊一
 【東北】
 栗原市消防本部 佐藤 武

見附市消防本部 川村 弘司
 板垣 和憲
 佐藤 大輔
 十和田地域広域事務組合消防本部 畠山 隆幸
 須田山篤史
 松田真一郎
 白石 司
 花田 一成
 大館市消防本部 石戸谷 忍
 相馬地方広域消防本部 阿部 敏光
 佐藤 学
 胆江地区消防組合消防本部 小野寺 淳
 大内 陽平

関東

【関東】
 太田市消防本部 矢島 知幸
 山崎 大輔
 島田市・北標原地区衛生消防組合消防本部 安田 隆晃
 道田 浩二
 坂元 大輔
 大森 康孝
 遠藤 賢一
 三井 信二
 芹川 修一
 金村 洋志
 加藤 勇樹
 竹内 良佑
 佐藤 久志
 若松 功守
 川端 博光
 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 市東 雅貴
 小泉 陽昭
 北村 昌勝
 立村 純一
 芳賀地区広域行政事務組合消防本部 岡本 光雄
 佐藤 千大

東海

【東海】
 尾三消防本部 長谷川 満
 須藤 紘史
 伊賀市消防本部 松山 直樹
 水川 智也
 清水 智也
 山県市消防本部 神原 淳

東近畿

西和消防組合消防本部 辰巳征一郎
 安東 望
 津幡町消防本部 小鷲 将史
 吉田 圭吾
 東近江行政組合消防本部 中村 羊介
 川嶋 伸悟
 和歌山市消防局 久田公美雄
 林 宏幸
 新納 史久
 新内 秀樹
 山田 大道
 谷川 哲也
 田中 浩志
 辻元 一徹

近畿

【近畿】
 朝来市消防本部 浅田 雅史
 田中 充
 岩田 裕次
 坂本 圭司
 大阪市消防局 小田 哲範
 岡崎 拓郎
 兼原 一成
 伊豆 大輔
 矢壁 拓真
 鳥取県東部広域行政管理組合消防局 藤田 憲司
 大家 英生
 河尻 幸治
 丹羽 康太

四国

【四国】
 尾道市消防局 弘松 伸康
 高知市消防局 永野 勲
 徳島中央広域連合消防本部 日浅 敬二
 田村 信生
 日野 高嗣
 神野 和也
 大井 智司
 高田 英治

九州

【九州】
 神埼地区消防事務組合消防本部 豆田康一郎
 片江 友亮
 八代広域行政事務組合消防本部 森田 武志
 今尾 武志
 日高 智博
 宮崎市消防局

比謝川行政事務組合三ライ消防本部 金丸 豊
 知花 清道
 比嘉 誠人
 田中 勝義
 松永 勝義
 薩摩川内市消防局 香川 忠宏
 八坂 栄三
 山口 芳行
 西 勝明
 久保山直紀
 秦 正英
 杵築速見消防組合消防本部 甘木 朝倉消防本部
 平戸市消防本部
 平戸市消防本部

ほふく救出(連携)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
 【標準所要時間一分一〇秒】

表彰者

【北海道】
 北後志消防組合消防本部 富岡 剛史
 佐々木 直
 松林 正悟

【東北】

伊達地方消防組合消防本部
金野 文紀
東城裕一郎
佐藤 秀智

酒田地区消防組合消防本部
土門 耕司
高橋 圭介
阿部 大輔

盛岡地区広域行政事務組合消防本部
小原 清弘
大坪 賢一
中岫 雄亮

新潟市消防局
山本 健
佐藤 泰浩
笠原 充弘

青森地域広域消防事務組合消防本部
齋藤 真一
齋藤 大地
蝦名 尚

秋田市消防本部
佐藤 勲
辻 直樹
齋藤 大樹

【関東】
稲城市消防本部
池田 貴好
中山 朗
浅羽 広大

田方消防本部
山田 晴久
青木 祐介
大森 剛央

鹿沼市消防本部
大森 和隆
白井健太郎
福田 哲也

峡南広域行政組合消防本部
藤原 響太
小林 正幸
丹澤 陽貴

旭市消防本部
越川 行弘
林 靖裕
小澤 玄季

佐久広域連合消防本部
篠原浩一郎
山田 和寛
長谷川佳史

大和市消防本部
兼平 享
齋藤 怜
山口 悟

太田市消防本部
赤石 浩良
篠木 健
茂木 正敬

川口市消防本部
大良 伸吾
山下 悟
中嶋 真也

東京消防庁
坂田 隆二
寒河江大輔
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

【東海】
豊田市消防本部
塩入ケ谷力也
尾形 紘
安藤 真也

津市消防本部
伊藤 理之
福田 武史
伊藤 賢二

海津市消防本部
堀 佳史
若林 久史
多川 敏一

【東近畿】
和歌山市消防局
森田 健司
新井 大悟
谷口 宜史

嶺北消防組合消防本部
中村 佳正
玉村 努
岡田 恭央

七尾鹿島広域圏事務組合消防本部
酒井晋一郎
飯山 達郎
寺下 隆治

大津市消防局
中瀬 祐介
中瀬 紘也
西浦 信安

高岡市消防本部
野上 弘人
中川 慎也
森田 泰則

京丹後市消防本部
山本 忠司
山上 景一
木下 夢大

【近畿】
尼崎市消防局
碓 慎吾
楠 昌大
牧 将博

【中国】
柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部
岡野 耕司
川口 聡一
酒谷 尚希

鳥取中部ふるさと広域連合消防局
山根 尚夫
牧田 隆志
小谷 皓志

岩国地区消防組合消防本部
松前 忠司
手嶋 篤典
山田 邦彰

府中町消防本部
藤原 祐介
小田上武史
飯田 典彦

雲南消防本部
藤原 睦美
力石 徹
川角裕一郎

総社市消防本部
林下 章宏
山下 大
貝原 哲司

【四国】
徳島市消防局
新田 貴徳
近藤 晋也
岩野 巨樹

三観広域行政組合消防本部
薦田 佳宏
小野 雅人
石井 智也

幡多西部消防組合消防本部
澤近 卓
所谷 昌幸
濱田 誠之

松山市消防局
八木大五郎
横内 大
野中 孝

【九州】
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部
森園 健一
村山 恵祐
武田 泰嗣

串間市消防本部
武田厚太郎
武田 拓
齊藤 直輝

天草広域連合消防本部
鬼塚 文久
高橋 将司
瀨川 雄伸

大口市外四町消防組合消防本部
徳田 哲士
大塚田 純
水流添達也

日田玖珠広域消防組合消防本部
外間 裕司
久貝 真
大城 真
小野 貞文
宮崎 泰典
梅木 秀徳
伊藤 充規
米倉 誠人
江藤 光

ロープブリッジ救出(連携)



四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展張された渡過ロープ(二メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出しロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練
【標準所要時間一分一五秒】

表彰者

【北海道】
旭川市消防本部
坂部 幸弘
和田 竜弥
中嶋 秀尚
佐々木康行

双葉地方広域市町村圏組合消防本部

渡邊 勝也

柴田 光栄

松本 和英

猪狩 雄平

赤塚 健太郎

井上 稔

丸山 隆夫

原田 裕樹

野辺地 誠

羽澤 充昭

千葉 崇史

下道 武尚

長谷川 輝

小関 竜也

由利 学

斉藤 有馬

佐藤 高志

辻 仁宣

瑞慶山 朝徑

菊地 嘉一

樋口 直人

鈴木 良明

鈴木 和明

坂本 真一

常盤 和弘

常盤 達也

三森 伸也

大平 吉男

赤坂 雅彦

押岡 雅慶

大津 政史

大河 邦彦

関根 邦彦

力石 佑介

小野田 壮一郎

山本 圭章

吉江 利光

牛山 直樹

佐々木 孝明

外之内 雅忠

長谷川 哲也

山口 智志

池田 直樹

田上和伸

三條市消防本部

盛岡地区広域行政事務組合消防本部

【関東】
市川市消防局

東京消防庁

春日部市消防本部

黒磯那須消防組合消防本部

太田市消防本部

焼津市消防防災局

松本広域消防局

小美玉市消防本部

東京消防庁

【東海】
岡崎市消防本部

山根 敬介

佐藤 賢志

赤坂 諭信

坂本 史章

兵藤 佳久

中根 佳久

鈴木 孝昌

平野 直幸

近藤 直幸

田中 史弥

杉山 史弥

豊田市消防本部

【東近畿】
吉野広域行政組合消防本部

向井 史彦

井上 智則

野村 裕紀

森田 真啓

平居 源康

五十嵐 友和

大堀 良太郎

北川 清太郎

松林 政宏

銭谷 大司

中山 康介

荒地 洋一郎

山下 圭司

坂上 紀之

岡山 嵩士

今井 雅文

森田 友樹

原田 達也

今井 裕貴

國澤 裕貴

【中国】
鳥取県西部広域行政管理局消防本部

高田 一広

戸塚 勝彦

斎藤 誠英

宮崎 章宏

中土 潤

森本 直光

佐々木 賢

山根 克弘

【四国】
板野東部消防組合消防本部

岩見 有介

【九州】
宇城広域消防本部

小川 完二

池添 達也

中川 博満

浦田 公輔

甲田 貴之

吉川 秀樹

坂井 浩次

江崎 将成

大井 昭典

古川 直也

糸島地区消防厚生施設組合糸島消防本部

和田 清二

谷口 馨

牧園 道学

卜部 高功

粕屋北部消防本部

【東北】
一戸地区広域行政事務組合消防本部

高峯 将喜

平智和

駒木 英信

引揚救助(連携)



五人一組(要救助者を含む)で、二人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。

【標準所要時間 二分三〇秒】

表彰者

八戸地区広域市町村圏事務組合消防本部

中里 祐輔

下館 弥史

田名部 勝彦

高谷 拓二

工藤 博康

木本 智也

山崎 晶昭

山崎 一徳

飯村 裕弘

佐藤 隆路

沼口 英明

西村 太郎

須賀 直也

須賀 貴志

馬場 隆光

宮澤 友輔

稲勝 正太郎

山口 知宏

水野 信

矢野 武

矢野 孝

中村 優

秋澤 祥史

岡本 潤也

菊池 順一

表 和宏

井戸 潤

小井 幸男

青木 里志

市川 哲也

上野 博基

山田 尚明

沼田 哉也

原田 嘉久

【東海】
衣浦東部広域連合消防局

小林 俊貴

荒海 幸司

山本 昌広

清川 陽介

坂神 由哉

加藤 寛隆

薄井 貴博

廣瀬 玄喜

市川市消防局

宮地 浩路

飯村 裕弘

佐藤 隆路

沼口 英明

西村 太郎

須賀 直也

須賀 貴志

馬場 隆光

宮澤 友輔

稲勝 正太郎

山口 知宏

水野 信

矢野 武

矢野 孝

中村 優

秋澤 祥史

岡本 潤也

菊池 順一

表 和宏

井戸 潤

小井 幸男

青木 里志

市川 哲也

上野 博基

山田 尚明

沼田 哉也

原田 嘉久

小林 俊貴

荒海 幸司

山本 昌広

清川 陽介

坂神 由哉

加藤 寛隆

【東近畿】
金沢市消防局

東近江行政組合消防本部

藤井 崇司
山崎 顕男
高山 昌宏
真鍋 拓郎
小山 雄史
藤川 拓郎
松田 孝志
満田 智明
下村 武司
池野 英文
田井中 善典

【近畿】
岸和田市消防本部

【四国】
高松市消防局

門脇 秀樹
河合 達也
池野 哲也
河野 一憲
西野 孝広
龍満 浩起
滝川 佑哉
時耕 秀樹
平田伊 孝明
寺井 李明

【九州】
福岡県南広域消防組合消防本部

中嶋 賛幸
野上 剛
吉瀬 雄二
和合 浩
竹上 進英
野田 康介
松本 二朗
林田 雄太
中村 光治
中尾 篤志

北九州市消防局

障害突破(連携)



五人一組(補助者を含む)で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。
【標準所要時間三分一五秒】

表彰者

【東北】
塩釜地区消防事務組合消防本部

山形市消防本部

安達地方広域行政組合消防本部

小岩 恵一
赤藤 勝典
佐藤 純一
小幡 宏
遠藤 信
會田 将之
渡邊 一実
尾形 裕輔
大沼 龍佑
伊藤 龍佑
大野 暢
大野 隆之
山本 武徳
佐藤 弘樹
穴戸 宏

藤沢市消防本部

水戸市消防本部

浜松市消防本部

松戸市消防局

東京消防庁

【東海】
損斐郡消防組合消防本部

【東近畿】
高岡市消防本部

【近畿】
堺市高石市消防組合消防本部

【中国】
広島市消防局

林田 真介
佐藤 拓美
近藤 俊彦
川畑 一哉
高橋 潤平
菊地 哲弥
中田 健太郎
伊海 健太郎
桑名 智
横塚 建志
三宅 孝典
坏 勉博
河合 良作
鈴木 智量
岩木 豊
柴田 秀幸
井村 義高
松田 秀之
綿引 和也
千葉 和也
尾崎 賢二
渡来 大樹
春田 耕作
齋藤 勇樹
齋藤 友貴
関本 和幸
伊藤 秀史
藤原 清文
野村 忠司
平井 博文
國枝 肇
小原 政和
越前 信秀
西野 貴宏
加野 貴裕
松田 啓吾

【四国】
今治市消防本部

【九州】
天草広域連合消防本部

北九州市消防局

平賀 達也
村尾 修央
松本 拓平
角先 宗次
豊嶋 昇太
中西 健誠
河上 義文
八塚 幸治
青野 幸治
荒木 克広
金子 孝伸
濱崎 寛輔
松永 雄二
青柳 俊輔
松田 信介
津曲 謙吉
松本 知英
大淵 晃弘

水上の部

基本泳法(基礎)



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的

な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。
水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

- 【東北】 秋田市消防本部 洪谷 嘉直
秋田市消防本部 佐々木雄太
新潟市消防局 五十嵐正憲
- 【関東】 川口市消防本部 堀 仁
東京消防庁 鈴木 敦士
横浜市安全管理局 越石 元
流山市消防本部 村田 耕介
太田市消防本部 額田 邦彦
那珂市消防本部 永井 孝裕
東京消防庁 今村 隼
飯田広域消防本部 原田 卓
- 【東海】 衣浦東部広域連合消防局 石川 慎弥
小牧市消防本部 石井 洋行
- 【東近畿】 京都市消防局 小西 立紘
大津市消防局 大沢 仁志
白石川広域消防本部 前田 大輔
- 【近畿】 堺市高石市消防組合消防本部 山田 晃史
青石 良
- 【中国】 尼崎市消防局 山田 晃史
津山圏域消防組合消防本部 磯田 基希
- 【九州】 福山地区消防組合消防局 宇津宮崇之
八代広域行政事務組合消防本部 佐藤 景介
八代広域行政事務組合消防本部 甲斐 之浩
有明広域行政事務組合消防本部 前田慶一郎

複合検索(基礎)



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の搜索を想定した訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

- 【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 奥沢 真治
いわき市消防本部 空岡 実
いわき市消防本部 猪狩 光博
- 【関東】 伊南行政組合消防本部 伊藤 敏之
市川市消防局 鳥家 吉高
太田市消防本部 黒澤 伸也
東京消防庁 山口 剛
さいたま市消防局 伊藤 澄雄
静岡市消防防災局 神谷 雅英
横浜市安全管理局 梅野 直樹
東京消防庁 神野 裕介
- 【東海】 知多市消防本部 篠田 昌裕
小牧市消防本部 沖 英次

- 京都市消防局 松川 智則
- 大津市消防局 長戸 敬介
- 湖南広域行政組合消防本部 川端 勝敏

【近畿】

- 守口市門真市消防組合消防本部 馬場 大輔

【中国】

- 尼崎市消防局 森岡 弘文

【四国】

- 松江市消防本部 津森 一宏
- 東広島市消防局 清老 洋平

【九州】

- 室戸市消防本部 山下 直仁
- 高遊原南消防組合消防本部 福岡 雄樹
- 高遊原南消防組合消防本部 福岡 雄樹
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 西岡 治彦
- 齊藤 豪

溺者搬送(連携)



二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアーキヤリーにより救助する。

【標準所要時間四二秒】

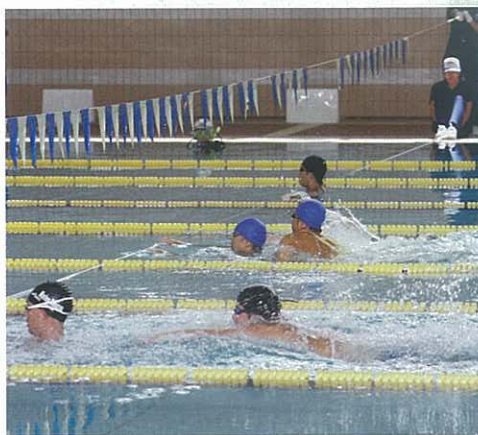
表彰者

- 【北海道】 深川地区消防組合消防本部 西川恭一郎
鈴木 隆浩
- 【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 佐々木正道
浜谷 雄生
- 【関東】 越谷市消防本部 竹村 俊幸
東京消防庁 高橋 佑介
高橋 敦士
千葉市消防局 高垣隆太郎
三橋 亮
新濱 秀樹
川崎市消防局 阿部 慶之
西 好子
東京消防庁 今村 隼
神保 雅聡
神保 雅聡
鎌井 英樹
塩澤 和昭
- 【東海】 岐阜市消防本部 足立 真規
名古屋市消防局 野村 耕自
名古屋市消防局 富成 哲也
関戸 哲也
- 【東近畿】 京都市消防局 彦川 智周
大津市消防局 岡村 悦道
黒島 和司
北野 充
- 【近畿】 大阪市消防局 小間坂直也
橋本 聡
枚方寝屋川消防組合消防本部 西口 幸仁
西口 幸仁
豊中 宏聡
- 【中国】 広島市消防局 谷本 瑞樹
川本 恵司
- 【四国】 中芸広域連合消防組合消防本部 大寺 淳
西山 和男
- 【九州】 熊本市消防局 酒井 敬治

大分市消防局

竹林 幸知
末松 一彦
森 まどか

人命救助(連携)



三人一組(要救助者を含む)で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリ―で確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没したある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間一分三秒】

表彰者

【北海道】
札幌市消防局

浅井 豊
倉内 健次
尾谷 力

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

高畑 芳和
岡本 健児
浜谷 雄生

【関東】
東京消防庁

落合 慶二
落合 功邦

東京消防庁

神保 雅聡
渡邊 真
竹内 豪一
川部航之介

【東近畿】
京都市消防局

【近畿】
大阪市消防局

大橋 史明
藤田 浩明
小西 立紘

【中国】
広島市消防局

堂本 昌裕
前田 祥亨
泉 良宣

【九州】
天草広域連合消防本部

植田 典秀
万足 隆史
中島 邦彦

溺者救助(連携)



三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

【北海道】
函館市消防本部

鎌田 一茂
池田 和樹
泉 秀典

【東北】
仙台市消防局

千葉 典史
小形 雅宏
土田匡紗幸

新潟市消防局

須田 和稔
五十嵐正憲
浅田 亨

【関東】
船橋市消防局

田中 重治
鈴木 秀友
安齋 大輔

東京消防庁

三浦 幸生
竹内 豪一
川部航之介

横浜市安全管理局

東京消防庁

澤田 直人
濱田 栄一
野木 雅真

越谷市消防本部

渡邊 雅真
芳垣 雅真
細淵 行弘

【東海】
豊田市消防本部

吉成 真吾
竹村 俊幸
小島 俊輔

【東近畿】
京都市消防局

小寺 史高
榊原 俊輔
佐藤 正和

【中国】
福山地区消防組合消防局

大槻 浩久
竹内 完治
北浦 友一

【四国】
高松市消防局

池田 哲也
三木 康士
石濱 敬之

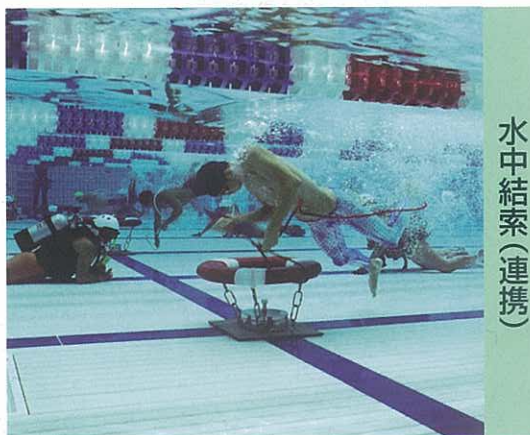
【九州】
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

川田 昇光
酒井 昇
黒田 聡

熊本市消防局

平野 剛
篠原 義尚
服部 大輔
波戸崎泰士
作本 浩平

水中結索(連携)



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分】

表彰者

【東北】
いわき市消防本部

岩倉 一将
根本 健裕
平子 信吾

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

須藤 聡
岡本 健児
佐々木正道

【関東】
東京消防庁

三浦 幸生
提橋 敦司
佐藤健太郎

船橋市消防局

横浜市安全管理局

行田市消防本部

東京消防庁

【東海】
岡崎市消防本部

【東近畿】
大津市消防局

【近畿】
神戸市消防局

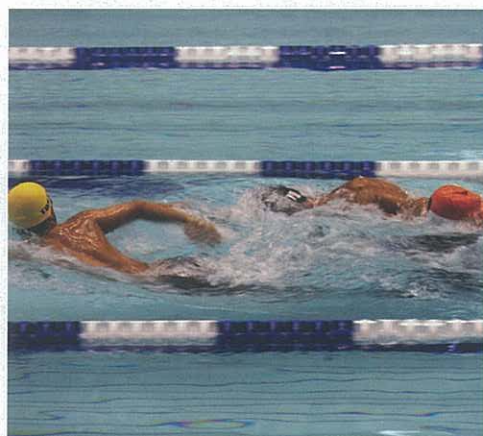
【中国】
津山圏域消防組合消防本部

【四国】
徳島中央広域連合消防本部

【九州】
人吉下球磨消防組合消防本部

小森 信秀	秋武 史孝	伊藤 悟	阿部 冬樹	酒匂 政行	平田 義高	池田 雅之	清水 忠	村井 京太	中島 明	神尾 清一	山本 章人	中根 清輝	黒田 淳哉	戸塚 淳哉	黒島 和司	山中 将人	澤田 将人	阿部 浩二	小松 康範	有田 達洋	神田 貴章	福田 賢司	磯田 基希	赤松 洋行	大倉 一真	藤川 政明	中川 博文	西川 隆浩	部 欣弥
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

水中検索救助(連携)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四一秒】

表彰者

【東北】
いわき市消防本部

【関東】
東京消防庁

東京消防庁

さいたま市消防局

空岡 実	岩倉 一将	猪狩 光博	平子 信吾	神尾 清一	山口 剛	菊地 太	相良 安彦	山本 章人	神野 裕介	神野 裕介	山本 章人	武田 晃太郎	山下 友之	吾妻 信康	伊藤 悠生
------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------

【東海】
大垣消防組合消防本部

【東近畿】
京都市消防局

【近畿】
守口市門真市消防組合消防本部

【中国】
東広島市消防局

【四国】
高知市消防局

【九州】
高遊原南消防組合消防本部

技術訓練(陸上の部)



定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

横山 裕一	森 郁介	須田 寿成	中島 宏夫	大橋 史明	佐藤 正和	嶋田 貴樹	井上 健司	山星 賢一	親央	大輔	乾 雅法	三保 貴司	永松 康宏	大木 雅行	木原 克公	小西 雅士	田村 伶央	大塚 哲進	澤田 裕也	日置 啓一	福岡 雄樹	西岡 治彦	松本 卓美
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	----	----	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

表彰者

【東北】
仙台市消防局

【開催地】
東京消防庁

【近畿】
尼崎市消防局
西宮市消防局
芦屋市消防本部
伊丹市消防局
篠山市消防本部

技術訓練(水上の部)



【東近畿】
和歌山市消防局

【九州】
熊本市消防局

北浦 康行	菅原 弘	菅原 憲次	菅原 武士	新田 陽介	高寺 幸寿	大滝 伸吾	泊村 清文	上野 清文	飯田 勝則	飯田 哲哉	岡本 建司	小嶋 康生	黒田 滋之	田尻 英治	松田 修光	永田 真朗	谷口 史朗	郷野 敏史	岡野 悠里子	宮田 和孝	村上 悟	岩川 哲也	恒松 幸裕
-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	------	-------	-------

インタビュー

山田さんご家族 (東京)

●主人 (東京消防庁・引揚救助) の応援に来ました。職場では救助隊員になって3年目の中堅どころ、また、家庭でも子供が小さいので大変な時期でしたが、これからも都民のためにがんばってほしい。

●救助隊員の彼を誇りに思います。全国大会に感動しました。



堀さんご家族 (島根)

●パパ (益田広域消防・はしご登はん) は強い、カッコいい。ほくも大人になったら消防士になるぞー。(雅貴くん4歳)

●この大会は若い人の励みになる。彼らの団結力がすごい。一人の住民として感じることは、救助隊はすぐに助けてくれる頼もしい存在だ。



国際協力機構のもと日本で研修中の皆さん

●レノンさん (ベリーズ)
中央アメリカのカリブ海に面するベリーズはハリケーンの通り道です。我々を含め自然災害を幾度となく経験した国民は、救

助技術向上の必要性を十分認識している。現在、自国の救助技術は2年前に受けた日本での研修成果が基礎となっている。とても満足している。

●ナビさん (フィジー)
日本と我々とは使っている資機材・施設が違う。特に高所訓練塔が自国にはないので、高層ビル災害に備え、日本のような塔が絶対に必要だ。

●ワリードさん (イラク)
大会はともすばらしく、今後の救助活動に必ず役に立つことだろう。

●ハイメさん (ペルー)
ペルーでも救助大会を開催しているが、日本のような観客がそもそもいらない。国民へのアピールとして今回の大会を参考にしたい。

●カプランさん (フィリピン)
訓練施設が素晴らしい。ここ日本で新しい救助技術を学び自国で生かしたい。「ロープ登はん」をやってみよう。



小林さんご家族 (長野)



●私も諏訪の消防団員で朝4時から消防操法訓練をやっていますが、操法大会審査員である消防職員が行う訓練とあって、以前から興味がありました。すばらしい、救助はやっぱり安全管理が徹底していますね。

●弟 (十日町地域消防・ロープブリッジ渡過) の応援にやってきました。消防は火事がない時何をやっていいのかと思いましたが、すごい訓練を重ねてくれたんですね。車両展示コーナーでは丁寧な説明をいただきとても感謝しています。

●中村さん・岡本さん・矢澤さん (埼玉)
●昨年の札幌大会と2年連続 (川越地区消防・引揚救助) で応援に来ましたが、やっぱり全国大会はいいですね。特に今年は観覧席が高くて見やすく、隊員と同じ目線で応援することができました。

●変化が激しい世の中ですが、消防もその流れについてきているなど感じます。幹部の考えが良いのでしよう。装備にしても然り。それを駆使する隊員の教育も行届いている。つまりは人材が一番大切なのです。その意味からもこの大会は大いに意義があるし、これからも続けてほしい。



青砥さん (神奈川・中学生) ・遠藤さん (千葉・高校生)

●はじめて観ましたが救助隊員の顔つきがすごい、真剣そのものです。近くであれば中学校として生徒が観に来るべきだ。将来は消防に入りたい。

●言葉にならないほどの感動です。将来は消防士になりたい。



矢壁さんご家族 (島根)

●全国大会というトップレベルで技術を披露できたことは、日ごろの厳しい訓練の賜物です。結局2名の方が亡くなった先日の救助事案では、息子 (雲南消防・ロープ応用登はん) も肩を落としていたが、救助は速く安全に救出することが本位、大会はもとより現場でこれからも頑張ってください。

●6月に結婚したばかりですが、彼の仕事の素晴らしさを改めて感じました。



徳田さんご姉弟 (鹿児島)

●普段地味な感じの救助ですが、全国大会は華々しく感動しました。将来は父 (大口市外四町消防・ほふく救出) のような救助隊員を主人公としたマンガを描きたい。

●全国のレ



スキューバ隊が集まっているが、父が一番カッコいい。将来は消防士に、そして救助隊を目指します。

本多さん・近藤さん(東京・千葉)



● 救助隊の仕事は理解していましたが、他の人が何をやっているのか興味があつて観に来ました。この大会を通して「消防」がわかつたような気がします。
● 救助隊員は普段から鍛えているので身体が違いますね。カッコいいと思います。

穴倉伊織君(中3)、お父さん(千葉)

● 知り合いの消防職員からレスキューの全国大会が開催されることを聞き、子供が消防士を志望していることもあり、水上会場へ足を運んでみました。各種目を見ていると、日ごろ厳しい訓練を行っている様子が想像できる。また、水中カメラの映像は迫力があつて、わかりやすくてよかった。



● 選ばれた隊員の訓練を間近に見て、消防士になりたいという思いが、ますます強くなりました。全国大会にも出場してみたい。

北野さんご家族(奈良)



● 1秒でも早く、と切磋琢磨している彼らの姿に感動した。救助事故は無い方がいいが、救助隊は無くてはならぬ存在だ。
● 大会はすばらしい、感激しました。どの隊員も精悍な顔をしていますね。テレビ放映するぐらい価値のある大会だともっとアピールしてほしい。
● 彼(生駒市消防・障害突破)との結婚を来年3月に控え、不規則な勤務や危険な職種ということで不安もありますが、全国大会を観て、一層思いを強くしました。感動しました。



“ちびっ子救助隊” 水野優輝くん(埼玉)

人命救助に 熱い血潮を燃やし続ける 消防人たちにおくる

(財)全国消防協会 福利厚生事業
全国消防グループ保険(生命保険)
消防職員傷害保険 消防職員医療保険
 保険事業の収益金は協会公益事業に大きく活かされています

がんばれ消防!!

(財)全国消防協会は、全国15万人の消防職員を会員とする公益法人です。

全国消防救助技術大会・9地区支部消防救助技術指導会の開催等の公益事業をつうじて消防の発展と公共の福祉に貢献しています。

特別演技

東京シンクロクラブ

当クラブは1960年に創設され、ソウル五輪に出場した小谷、田中両選手、アテネ五輪に出場した鈴木、原田両選手など、延べ16名の日本代表を輩出して



いる歴史と伝統に加え、先頃行われた「日本シンクロチャレンジカップ2007」での優勝など各種大会において優秀な成績を収める実力を兼ね備えるクラブである。

今回の特別演技では小学校5・6年生8名によるチーム演技とAチームの加賀谷選手によるソロ演技を披露していただいた。華麗でダイナミックな演技は、見るものすべてを感動させ、全国の救助の精鋭たちが一堂に集う最高の舞台における一服の清涼剤となった。

・インタビュー

○チーム演技を披露してくれたみなさんは、「新しい振り付けがマスターできるときや、みんなの演技がそろって決まったときにシンクロのおもしろさがある」と口を揃える。今後の目標は「全国ジュニアオリピックカップ夏季水泳競技大会」年齢別種目での決勝進出ときっぱり。

○ソロ演技を披露してくれた加賀谷選手は、6年前の第30回大会でも特別演技を披露した経歴をもつ。ソロのおもしろさは、「自分で曲を選び、振り付けを考えるなど、演技の表現方法に無限の可能性があるところ」と話してくれた。現在、夏休み期間中

ということ、毎日8時間のプール練習と1時間の陸上を行って



の日本選手権で3位という見事な成績ながら、優勝できなかったくやしさを練習にぶつけている。コーチの市橋先生は「加賀谷選手の『立ち泳ぎ』は、日本屈指、世界でも通用する」と話す。誰にも負けないというプライドをもつ『立ち泳ぎ』を武器に、来



特別演技

東京都立国際高等学校 RHYTHMS

「うわっ、すごーい！速ーい！超人的！」。演技を見た都立国際高校チアリーディング部員の感想である。彼女たちは、陸上会場開会式で特別演技としてチアリーディングを披露してくれた。軽快な音楽に合わせて次々とダイナミックな「技」を繰り出し、そのチームワークの取れた動きは感動的であり、それは会場を埋めた見学者たちを魅了した。冒頭の言葉は、そんな彼女たちが今回初めて救助大会を見た瞬間に出た言葉で、演技と同様にダイナミックでセンシブルなものだった。

今回、演技を見せてくれたのは総勢39名。その中で部長の相馬ゆきのさんに大会の感想と普段の練習などについて聞いてみた。「救助大会は、今回、初めて見ました。速いし、すごい動きでした。私たちは、練習を平日2時間、土、日曜日は6時間しています。今は、夏休み期間中なので1日6時間です。今日の演技は、みんな楽しんできたと思います。チアリーディングもこの救助大会と一緒に、チームワーク・信頼が大切ですね。やはり、あの一糸乱れぬ演技は、この猛練習があつたものであったのである。ちなみに国際高校は昨年度の第17回全日本高等学校チアリーディング選手権大会優勝、今年度の第9回関東チアリー



その中で部長の相馬ゆきのさんに大会の感想と普段の練習などについて聞いてみた。「救助大会は、今回、初めて見ました。速いし、すごい動きでした。私たちは、練習を平日2時間、土、日曜日は6時間しています。今は、夏休み期間中なので1日6時間です。今日の演技は、みんな楽しんできたと思います。チアリーディングもこの救助大会と一緒に、チームワーク・信頼が大切ですね。やはり、あの一糸乱れぬ演技は、この猛練習があつたものであったのである。ちなみに国際高校は昨年度の第17回全日本高等学校チアリーディング選手権大会優勝、今年度の第9回関東チアリー



ディンク選手権大会高等学校の部で優勝している実力チームだ。

「超人的！腕の筋肉さわってみたい」といったのは、副部長の豊田桃子さんだ。なぜ、チアリーディングを始めたのか聞いてみると「入学した時の先輩の演技を見てすごいと思った。笑顔で見ている人に感動を与えられる。自分も感動を見ている人と一緒になって楽しめるように、見ている人が笑顔になってくれたらいいなと思って始めました。チアで最も大切なことは『絆です』とキラキラした笑顔で答えてくれた。

そんな輝く彼女たちを代表して消防隊員へメッセージを同じく副部長の藤田彩稀さんが送ってくれた。「今日、初めて大会を見て感動しました。消防の仕事は、大変だと思っています。そんな大変な仕事をいつもしてくれて、ご苦労さまです。ありがとうございます。これからも、よろしくお願ひします」。さわやかな笑顔の、リズムメソッドの皆さんありがとうございます。彼女たちは競技の見学もそこそこ会場を後に、また練習へと向かって行った。

ジャブジャブプール

猛暑日となった大会当日。上半身はだかで大喜びしていたのは、展示コーナーの一つ“ジャブジャブプール”の子どもたち。あまりの気持ち良さから、ズボンをはいたままザブーンとプールの中で寝転び全身をビショビショに



てしまうも、すかさず、お母さんのカメラが落ちました。東京消防庁広報課の今井消防司令補に、なぜこのコーナーを設けたのかを聞いてみました。「やっぱり、夏ですから。涼を求めてという意味と、小さいお子さんがたくさん来場することを予測して、子どもたちが飽きないように工夫しました。そして、たくさんの子どもたちに消防を見て、触れてもらい、好きになってもらう機会、チャンスをできるだけ作るということも一つのコンセプトです。」との回答が、返ってきた。さすが広報マンである。消防のサポーターの裾野を広げる。今日の会場に来たちびっ子サポーターが、何年後に今度は、オレンジ服を身にまとうて競技に出場している。実現したならば、“ジャブジャブプール”の広報効果は百点満点以上となることでしょう。実に楽しみです。

特別展示 国際レスキューシステム研究機構



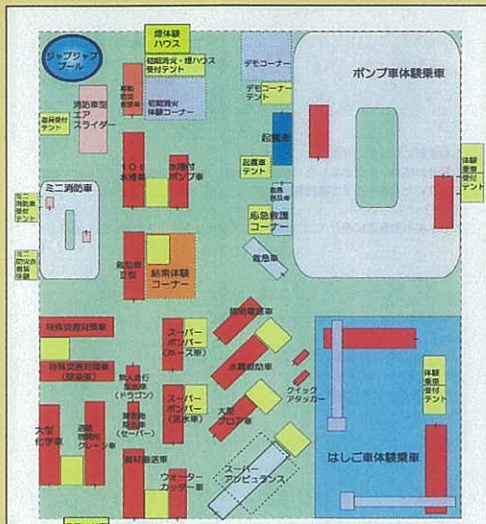
右から東北大学“能動スコープ”、千葉工業大学“ケナフ”、電気通信大学“KOHGA”、東京工業大学“人力空圧ポンプ”

「今回の目玉は、特別展示の国際レスキューシステム研究機構のブースですよ。今回は4つの大学からレスキューロボットの展示をお願いしました。いずれもその分野のトップの方々で、一堂に揃うことは滅多にないことです。ぜひ、見学して行ってください」と東京消防庁広報課の今井司令補に案内された。

倒壊家屋を模した工作物と瓦礫のコーナーの中にレスキューロボットが展示されていた。デモンストレーションには、まだ時間があるとのことで、千葉工業大学未来ロボット技術研究センターの小柳栄次副所長に話を聞かせてもらうことができた。「阪神淡路大震災をきっかけにレスキューロボットが見直されるようになりました。私たちは大都市大震災軽減化特別プロジェクトにより、大震災における緊急災害対応のための人体検索・情報収集などを支援することを目的としたロボット・ユビキタス端末などの研究開発を行っています。具体的には、消防職員が直接進入できない場所にロボットが入り、被災者や内部の状況などの情報収集、統合をして消防・救助活動の意思決定の支援や隊員の二次災害の未然防止に役立たせたいと思っています。

今日のこの大会は、非常に有効なものだと思います。どの分野でもエキスパートは、ムダがない。より良い技術や機器を発展させていくには、直に見て触れることが大切で、この大会によりその機会が提供されている。また、一般の方が入場できることは、消防がこんなことができるんだということを知ってもらえたり、子どもたちのあこがれになったりと思うんですよ。小柳副所長は、親切丁寧に説明してくれた。

車両展示・防災体験コーナー



ミニ防火衣装着体験



カメラを構えているとファインダーの下の方でオレンジ色の物体が左から右へ横切って消えていった。何かと思いファインダーから目を離すと、そこにはとても小さな防火衣を着て歩いている“ちびっ子消防士”がいました。ここは、「ミニ防火衣装着体験」コーナー。ちょっと狭いスペースだけ、物(防火衣)も小さいし、体験する子どもたちも小さいので大丈夫。

「今日は、100人+αくらいの子どもたちが体験することになるでしょう」と話してくれたのは、本郷消防署の濱中典司消防士長。ここには、隣のミニ消防車コーナーと合わせて12名の係員が配置されていましたが、女性スタッフが多く、皆さん小さな子に優しくミニ防火衣を着せてあげていました。「今日は救助大会なので、オレンジが人気です。お父さんと一緒にものを着たいというお子さんや、子どもに父親と同じものを着せたいというお母さんたちもたくさんいます」と今日の状況について、東京消防庁広報課の常陸千尋消防司令補が話してくれた。

向かい側には、第3消防方面本部のハイパーレスキュー隊の車両が展示されていたが、担当の稲刈信消防副士長は「子どもたちの喜ぶ顔を見るのが楽しみです」と、ミニ防火衣の子どもたちを展示車両へ乗せてあげるサービスをしていました。驚くことに今日は出動可能態勢だそうで、何か災害があったら、ここから出動するとのことでした。笑顔の中にも緊張感が見て取れました。

はしご車体験乗車



消防の体験コーナーといえば、やはりこれ。はしご車体験乗車である。やはり、どの時間帯に見に来ても順番待ちの列の長さは、いつも1番だった。「1時間交替で動かしています。順番を待つ時間をなるべく少なくしてあげたいけど、2台同時に動かし続けると、はしご車に負担が掛かり過ぎてしまうので」と牛込はしご隊の亀山隊長。神田はしご隊の長須隊長は、「ある意味で実災害よりも気を遣うところがあります。小さなお子さんを絶対に怪我させてはならないですから。今日は同じ消防の仲間として、大会をバックアップすることで大会全体が成功してくれば良いと思っています」と話してくれた。このコーナーには、はしご隊のほかに5名の安全管理係員が配置され、万全の体制で事故の防止にあたっていました。

写真のピースサインの女の子は、都内在住の黒部和花ちゃん(4歳)。幹太ちゃん(4歳)との双子です。実は、幹太ちゃんが大のはしご車ファンだそうで、今日はお母さんが区報を見て、この大会があることを知り見に来たそうです。和花ちゃん、表情は少しこわばっていましたが「楽しかった」と感想をいってくれました。



事前審査担当の齋藤、持丸の両司令補。「すべて公平にやっています」。



大会の大元締め。進行担当の茂木司令補。「暑いけど、やるっきゃない。がんばってます」。



「お蔭様で、扱件数は0でした」。救護所の白鳥司令補と大島副士長



暑さを感じさせない凛々しい演奏の音楽隊

大会を支えてくれた裏方さんたち

大会ダイジェスト

